

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	地球環境行動会議(GEA)		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部署	研究開発局		担当課室	環境エネルギー課		環境エネルギー課長 田口 康
会計区分	一般会計		上位政策	環境・海洋分野の研究開発の重点的推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	世界のトップレベルの研究機関や国際機関の人々、国際世論の形成に影響力のある人々の参加のもと、地球環境、持続可能な開発等に関する国際会議を定期的開催し、その内容を世界に向けて発信する。					
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	GEAによる国際会議の開催について、関係府省の一つとして共催し、他府省と連携して支援する。 (外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省の6省が共催)					
実施状況	GEAでは近年2年ごとに地球環境問題をテーマに国際会議を開催している。 平成15年10月 テーマ「教育・IT・天然資源」(於東京) 平成17年10月 テーマ「気候変動と持続可能な開発への影響」(於東京) 平成19年10月 テーマ「持続可能な未来を実現する政策手法」(於東京) 平成21年10月 テーマ「低炭素社会を実現する科学技術と政策の推進」(於東京)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	10	0	10	0	0
	執行額	6	0	7		
	執行率	60.0%	0	70.0%		
	総事業費(執行ベース)	6	0	7		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	支出に当たっては6省が共同でGEA国際会議開催支援業務に関する契約を締結し、その用途を詳細に把握している。				
	見直しの 余地	契約事務に当たっては、一層の経費削減に努めるとともに、関係省と連携した事業の実施に努めること。				
予算 監 ム 視 の ・ 所 効 見 率 化	1. 事業評価の観点:この事業は、地球環境行動会議(GEA)による国際会議の開催を支援するものであり、隔年開催が続く中、開催年においても予算の執行率が低くなっている。 2. 所見:隔年開催という傾向がある中、環境分野の国際関係事業が本事業以外にも存在していることから、いったん廃止し整理統合すべきである。その際、予算執行の実績を的確に把握し、予算との差異の要因等を十分精査しつつ、共催6省間のさらなる連携による効率化を図るなど、予算を縮減すべきである。					
補 記						

文部科学省
7百万円

〔 G E A が開催する国際会議に
教育、学術・科学技術振興の
観点から協力する。 〕



A.株式会社サイマル インターナショナル 7百万円

〔 GEA国際会議開催支援業務を実施する。 〕

※契約事務とりまとめは環境省において実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 株式会社サイマル・インターナショナル			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	平成21年度GEA国際会議開催支援業務 契約請負経費	7			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)